



学校や関係機関等において、様々な場面で、ヘルメット着用推進に向けた取組等が行われています。今回は、各校で実施された「年始の交通安全運動」や須崎総合高等学校で行われた「スケアード・ストレイト教育技法による自転車交通安全教室」を紹介します。

■年始の交通安全運動 ※自転車ヘルメット着用推進週間（R7. 1/8～1/14）も併せて実施

県内各地の高等学校で、**自転車ヘルメット着用推進週間**に併せて**年始の交通安全運動**が行われました。寒空の下、自校の生徒への自転車ヘルメット着用啓発だけでなく、地域の方々への啓発も見られました。



高岡高等学校



春野高等学校



丸の内高等学校



自転車ヘルメットの着用は、安全のために**自分でできる命を守る行動の1つ**です。こうした啓発活動を通して、当たり前のようにヘルメットを被って自転車を運転する人たちが、今以上に増えることを期待しています！

※かぶっちょこ通信に載せる写真を募集しています。

■スケアード・ストレイト教育技法による自転車交通安全教室

須崎総合高等学校



1月22日（水）に須崎総合高等学校で**スケアード・ストレイト教育技法による自転車交通安全教室**が行われました。スケアード・ストレイト教育技法は、危険を実感することで、それにつながる危険行為を未然に防ぐ教育技法です。

スタントマンによる模擬交通事故の実演を間近で見学したことで、**交通事故の恐ろしさ、自転車安全利用の大切さ**を生徒たちは実感したことだと思えます。